

令和 3 年 6 月 1 8 日

産業厚生委員会記録

阿久根市議会

1. 日 時 令和3年6月18日（金）
11時48分開会
12時03分散会
2. 場 所 第2委員会室
3. 出席委員 白石純一委員長、中面幸人副委員長、
川上洋一委員、竹原信一委員、木下孝行委員、
山田勝委員、濱崎國治委員
4. 事務局職員 議事係主任 松崎 正幸
5. 会議に付した事件
所管事務調査について
6. 議事の経過概要 別紙のとおり

○所管事務調査について

白石純一委員長

ただいまから産業厚生委員会を開会いたします。

本日は所管事務調査を議題といたします。

本委員会は、再編前の第1回定例会において所管事務調査の報告を行いました。その内容や調査の経緯等はお配りしました資料のとおりですが、継続しての調査を求めるという意見もございます。そういったことも踏まえて、本日、新たな調査項目を決定したいと思います。

委員の皆さんからの御意見をお願いします。

木下孝行委員

調査項目については、委員長からあったとおり継続の要望があるということですが、私もこの2年間してきたこの調査項目を引き続きしていくべきだと思います。

その理由としましては、集落営農等の農業振興策ですが、いাকらの問題を含めた鳥獣対策問題がメインなんですけれども、先日の一般質問でもありましたように、執行部のほうから減容処理施設等を考えている旨の答弁がございました。委員会としてはそのような決定というのは初めて聞いたような気がします。今までは、いাকらを何とか活用していかないといけないという方向で話は進んでいたと思うのですが、その辺のことも含めて、今後も協議をしていくべきだろうと思います。

それから市街地の活性化について、今後、新しい道の駅ができるまでに人が阿久根の市街地に来て回遊できることを期待できる街にしないといけないと。何か目玉になるものを市街地につくっていかないといけないというのは大きな課題だろうと思うので、このことについてもやるべきだと思います。

4番目の海を活用した観光行政と水産業の振興についても、阿久根市の基幹産業でありますので、そこはやはり外すわけにはいかないだろうと思いますので継続するべきだと思います。

白石純一委員長

木下委員からは4項目引き続き継続ということです。

ちなみに4項目というのは、1 集落営農等の農業振興策（有害鳥獣問題含む）、2 道の駅等の活性化（新道の駅含む）、3 市街地の活性化対策（青果市場跡地の利用含む）、4 海を活用した観光行政と水産業の振興、以上の4点です。

ほかの委員から御意見はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

内容的には了解ということで、文言等を変える必要はないでしょうか。例えば2番の道の駅等の活性化（新道の駅含む）については、道の駅「等」とあるのですが、それはどういった、

〔発言する者あり〕

木下孝行委員

多分、私が思うには、道の駅のほかに、今ある既存の施設とこれからできる施設があるわけで、それらを含めた形にするために「等」をつけたのだらうと思いますので、別にそ

ここにこだわる必要はないかと思います。

白石純一委員長

新しい道の駅計画とこれまでの道の駅とのすみ分けとか、そういったことも含めてということでしょうかね。

山田勝委員

個人的にはね、新しい道の駅の話はもう進んでいくのだから、あってもなくてもいいかなという気持ちです。ただ、市街地の活性化については、仮に新しい道の駅ができたとしたらもう空洞です。阿久根の街は死にますから、それまでの間に何かしないといけないということで、やはり青果市場跡地を利用した市街地の活性化に力を入れないと、もう本当に死んでしまうという気がするものですから、それを主にしたいというのが私の気持ちです。

白石純一委員長

2番が道の駅等の活性化、3番が市街地の活性化対策でしたが、道の駅と市街地との関係は切っても切れない、どちらかだけが発展するというのではなくて、もちろん両方発展しなければいけないというのもあるんですけども。その辺りをくつつけることもできるだろうから、あえて道の駅については触れなくてもいいという考えもあると思いますが、山田委員は触れなくてもいいという考えですか。

山田勝委員

それでいいですよ。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

川上洋一委員

観光の中に寺島邸も入っているのですから、その辺のことも突き詰めていかないと。金だけかけてしまって、あとをどのようにしていくのかを市で考えないと。寺島会に任せっぱなし、ボランティア団体に任せっぱなしというのもいかなものかなと思います。

白石純一委員長

川上委員の御意見は4番の「海を活用した」という文言を除けば観光行政ということにもなりますので、「海を活用した」を削除して観光行政とすれば、ただ、そうすると水産業が、

〔発言する者あり〕

木下孝行委員

観光行政と水産業を分けて考えればいいのではないですか。

白石純一委員長

阿久根市として水産業を振興する、あるいは農業も含めて、あるいは全ての産業を振興したいというのは当然のことなので、あえてうたう必要があるのかなというのもありますけれども。

木下孝行委員

寺島邸のことは観光行政の中で調査していけばいいのではないですか。

白石純一委員長

観光行政とすれば当然、道の駅も入ってくると思いますので、2と4を合わせて観光行政の振興ということでよろしいですかね。

木下孝行委員

私はそれでいいと思いますよ。

山田勝委員

そうすれば全部含めるからよかね。

白石純一委員長

それでは2と4を合わせて観光行政についてということでいいですかね。それを2番として、それと3番ですが、市街地の活性化対策とすると当然、青果市場跡地は含まれるものですので括弧書きはなくても皆さんで共通理解しておけばよいという考えもありますがいかがでしょうか。

木下孝行委員

皆さん認識しているわけだから括弧書きは省いていいのではないですか。

白石純一委員長

では3番は市街地の活性化対策についてということで、説明をするときに青果市場跡地を含めるということで理解を深めると。

1番はどうでしょうか。集落営農等の農業振興策（有害鳥獣問題含む）なのですが。

竹原信一委員

農業振興策だけでよくないですか。

濱崎國治委員

括弧は取っても、説明の中ですれば。

白石純一委員長

それでは1番も農業振興策についてとして、説明の中で有害鳥獣問題も含んでいるんだということを明記すると。

それでは、皆様から出た意見をまとめますと、本委員会の所管事務調査の項目は、1番は農業振興策についてとし、内容については有害鳥獣問題を含むと。2番については観光行政についてとし、道の駅や寺島邸とか、個別のことが必要であれば文章で明記すると。

3番については市街地の活性化対策についてとし、旧青果市場跡地なども含むと。以上と決定することに御異議ございませんか。

濱崎國治委員

2番は観光行政についてだけでなく、観光行政の推進についてとか、観光行政の活性化策についてとか、そういうふうにしては。

木下孝行委員

水産業の振興が漏れてなかった。

白石純一委員長

2番に加えるということですかね。

木下孝行委員

観光行政と水産業の振興は違うでしょ。農業の振興はあって水産業はほかのところに入れ込むというのはよくないよ。別で考えていかないと。

白石純一委員長

4番としてということですね。

それでは、改めて申し上げます。

1番、集落営農等の農業振興策について。2番、観光の振興策について。3番、市街地の活性化策について。4番、水産業の振興について。以上の4項目に決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決しました。

ほかに何かありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕
なければ、以上で産業厚生委員会を散会いたします。

(散 会 12時03分)

産業厚生委員会委員長 白 石 純 一